



ひろば



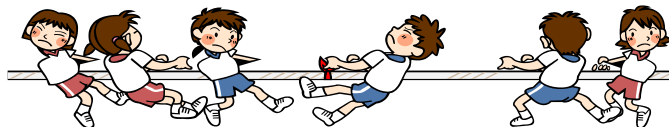
令和3年9月30日 発行

シンボルツリー：ブーゲンビリア

様々な見方で物事を考えよう

校長 久永 浩幸

16日(木)に合同運動会がありました。コロナ禍の中、応援する人数を制限して平日に実施しました。時折大雨の降る、決していいグラウンドコンディションではありませんでしたが、靴を脱いで裸足で走ったり、滑ってころんでズボンが汚れたりしたことで逆に子どもたちには楽しかったようです。



「見方」を育てる

学校で何をどのように学ばせるかという内容と方法は、文科省が出している学習指導要領によって決められています。小学校では昨年度から新しく改訂され、どの教科等も「見方・考え方を働かせて～」学びを深めていくことになっています。ではこの「見方」とは具体的にどのようなことなのでしょうか。

～『今年の雨の中の運動会は、いい運動会だったと言えるのか。』～を例に考えてみます。

多面的な「見方」で見ると・・・様々な側面

晴れの日の方が望ましいという前提で見ると、競技・演技のしやすさ、記録更新のしやすさ、ケガのしにくさなどの面に着目しがちです。当然否定的な意見が多くなります。逆に、「競技しにくかったから、いつもよりなかまのことを思い、協力してできた。」「久しぶり裸足で走ったけど、気持ちよかった。」などの気持ちの面に着目すると、肯定的な意見が増えてきます。

多角的な「見方」で見ると・・・様々な立場

100m走で記録を狙っていた子ども、水に濡れることが嫌いな子どもなどにとっては当然否定的な意見が多くなります。逆に、濡れながら走り回ることが好きな子ども、裸足で走ることが得意な子どもにとっては肯定的な意見が多くなります。

総合的な「見方」で見ると・・・目標の達成度

今回の合同運動会では、わたしが講評をすることになっていました。講評は、判断基準に合わせて評価することになります。今年の合同運動会の大きな目標は、「自主的・協力的な態度」でした。この目標は、障害となる事柄が多いほど必要で大切な態度となります。今回の障害は「雨でぬかったグラウンド」でした。

子どもたちがこの障害を乗り越え、力を合わせみんなが助け合う運動会になりました。だから「素晴らしい運動会でした。」の講評となったわけです。

一つのことを取り上げてみても、見方が異なれば考え方が異なります。子どもたちを取り巻く多くの問題を大人が評価する場合も同じです。例えば、「ゲームを、子どもの考えだけでさせていいのか。」の判断は、多面的に見ると「かける時間、健康への影響、学習時間の確保、内容の善し悪し」などの視点が必要です。また、多角的に見ると「近くに遊び相手が少ない子ども」「子どもと向き合う時間が十分取れない親」「宿題だけはさせたい教師」など様々な立場から見た視点が必要です。結局、総合的な判断は、初めから決まっているのではなく、そのときみんなが何をテーマに議論しているのかという目標や目的で決まるのだとわたしは思います。

光る瞳と汗 全力でかけぬけた 運動会



1年生は初めての運動会とは思えないぐらいの活躍でした。最後までよく頑張りました。



2年生は、1年生の時よりずいぶんお兄ちゃん、お姉ちゃんになりました。真剣なまなざしがとてもかっこよかったです。



4年生の活躍する様子は、まるで高学年のようでした。これまでの頑張りが実り、大きく花開くのが楽しみです。



5年生が競い合う姿、とても力強さを感じました。これから切磋琢磨し、互いに高め合う「よき友」であってほしいです。



6年生は、小学校生活最後の運動会でした。練習の時から、下学年に声をかける姿はさすがでした。卒業まで残り半年となりました。素敵な思い出をつくり、さらに飛躍することを期待しています。

保護者やご親戚の皆様には温かいご声援をいただきましたありがとうございました。今後ともよろしく願います。

★ 住用の子に光を! ★



大雨の影響で、水浸しになった運動会の会場整備を子どもたちが頑張りました。競技などでは見えない子どもたちの一生懸命な姿が見られた瞬間でした。このように、目立たない場面にも目を向け、人の役に立つよさを感じてほしいです。

<10月の行事予定>

- 1日(金) 身体測定・視力検査
- 9日(土) 島唄の練習
- 22日(金) 住用小公開研究会
※低学年は給食後下校 他の学年は5校時まで
- 28日(木) 市陸上記録会

<11月の行事予定>

- 1日(月) 県民週間(～7日)
- 5日(金) 給食試食会 授業参観
- 40日(水) 市音楽発表会【中止】
- 13日(土) 学習発表会
- 30日(火) 授業参観 学級PTA
学校保健委員会 PTA役員会
家庭教育学級



